

公衆衛生看護学概論

単位数（時間数）：2 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：教授・鈴木るり子

科目担当者（職位・氏名）：講師・松岡真紀子、助教・石田知世、助教・磯島実奈
非常勤講師・会田薫子

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：82

■ 授業概要

公衆衛生看護の定義と特質及び公衆衛生看護活動の歴史、理念、機能について理解し、後に続く公衆衛生看護関連科目の基礎を教授する。

■ 到達目標

1. 公衆衛生看護の定義および対象について説明できる。
2. 公衆衛生看護の倫理について説明できる。
3. 保健師のコアコンピテンシーについて説明できる。
4. 公衆衛生看護の歴史を学び、新たな公衆衛生看護活動について論述できる。
5. 公衆衛生看護活動における研究の必要性について説明できる。

■ 教育内容

公衆衛生看護学概論

■ キーワード

公衆衛生看護、公衆衛生看護の倫理、保健師のコアコンピテンシー、公衆衛生看護活動の歴史

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	ガイダンス 公衆衛生看護の歴史①	ガイダンス 欧米の公衆衛生看護の始まり 日本の公衆衛生看護の歴史（草創期～現代）	鈴木
2	公衆衛生看護の歴史②	日本の公衆衛生看護の歴史（岩手県旧沢内村の生命尊重行政・地域包括ケア） 保健師資格と公衆衛生看護教育の歴史	鈴木
3	公衆衛生看護とは	公衆衛生看護の定義 公衆衛生看護と地域看護 公衆衛生看護の基本理念・関連理論・概念 公衆衛生看護の機能 公衆衛生看護活動の根拠法令	松岡
4	公衆衛生看護の対象と場①	公衆衛生看護の対象①	石田
5	公衆衛生看護の対象と場②	公衆衛生看護の対象② 公衆衛生看護活動の場①	石田
6	公衆衛生看護の対象と場③	公衆衛生看護活動の場②	松岡
7	予防の概念と健康に影響する社会的要因①	予防の概念と方法 人口構造の変化と健康課題 社会構造・社会情勢の変化と健康課題	松岡
8	予防の概念と健康に影響する社会的要因②	疾病構造の変化と健康課題 健康格差と健康の社会的決定要因 環境の変化と健康課題	松岡
9	国際保健 海外における公衆衛生看護活動	在留外国人への支援 グローバルな健康課題への取り組み 文化の異なる人たちと共に活動するうえで必要な概念 海外における公衆衛生看護活動	磯島
10	保健師とは	演習 「保健師は何をする人か」を自分たちの言葉でまとめ、発表する。	共同
11	保健師のコアコンピテンシー	【リモート】 保健師の基本的能力 保健師の専門能力	共同
12	公衆衛生看護における倫理①	倫理の基礎 公衆衛生の営みと倫理	会田

13	公衆衛生看護における倫理②	公衆衛生看護と倫理 公衆衛生看護の責務 公衆衛生看護における倫理的問題 公衆衛生看護実践の基盤となる原則	松岡
14	公衆衛生看護における倫理③	演習 2つのグループに分かれ検討 ① 法・制度と人権の狭間 ② 保健医療福祉の地域格差	共同
15	公衆衛生看護と研究	実践に不可欠な研究力 実践知の蓄積とエビデンスの活用 研究の共有	石田

■ 履修条件

ヘルスプロモーション論、公衆衛生学の単位を取得していること。

■ 成績評価方法

筆記試験 80%、演習 20%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

希望者に対して試験のフィードバックを行う。希望者は、試験日以降 2 週間以内に、事前にアポイントを取った上で、科目責任者の研究室を訪ねること。

■ 教科書

- ・村嶋幸代他編（2022）『保健学講座 1 公衆衛生看護学概論』メヂカルフレンド社
- ・井伊久美子他編（2024）『新版 保健師業務要覧 第 4 版 2024 年版』日本看護協会出版会
- ・勝又浜子他編（2024）『看護法令要覧 令和 6 年版』日本看護協会出版会

■ 参考書・参考資料等

- ・標美奈子他編（2022）『標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論 第 6 版』医学書院
- ・麻原きよみ他編（2022）『公衆衛生看護学テキスト 第 1 巻 公衆衛生看護学原論 第 2 版』医歯薬出版株式会社
- ・麻原きよみ他編（2014）『公衆衛生看護学テキスト 第 1 巻 公衆衛生看護学原論』医歯薬出版株式会社
- ・上野昌江他編（2020）『公衆衛生看護学 第 3 版』中央法規
- ・厚生労働統計協会（2023）『国民衛生の動向 2023/2024』厚生労働統計協会
- ・菊池武雄著（1968）「自分たちで命を守った村」岩波新書
- ・太田祖電他著（1983）『沢内村奮闘記 住民の生命を守る村』あけび書房

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・事前学修：シラバス該当箇所のテキスト及び参考資料を読了しておくこと。
 - ・事後学修：配布資料を確認し、理解に努めること。
- 事前・事後学修は、各 90 分程度行うこと。

■ 担当教員からのメッセージ

公衆衛生看護学は保健師の基盤となる学問です。そして、公衆衛生看護学概論は保健師について学ぶための道標です。この科目を通し、保健師活動の本質を捉え、その創造性や面白さまでをも感じながら学びを深めていきましょう。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 12、rsuzuki★iwate-uhms.ac.jp、各授業日 17:00 まで。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

保健師・研究職

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

公衆衛生看護活動の歴史研究を基に、新たな公衆衛生看護活動について論述したいと考えている。講義時間内にディスカッションの時間を設けるので、積極的な参加を望む。